



# 名細小学校だより

学校教育目標 **なかよく かしく たくましく**  
 学級数 25学級／児童数 666名(男328名 女338名)  
 TEL 049-231-2216 naguwashisho@city.kawagoe.saitama.jp



令和3年度  
 第3号  
 令和3年6月2日

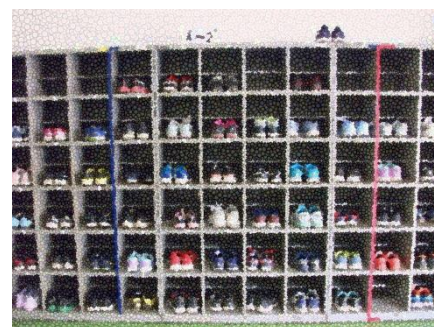
## 「6月の危機」を乗り越える

校長 岩崎 佳澄

「6月の危機」という言葉を聞いたことはありますか。学校生活に慣れてくる6月、少しずつ、いい加減さや適当さがでてきて、学習に身が入らなくなったり怪我が増えたりすることを言います。わずかなほころびを見逃さず、修正することが、この時期には大切です。

私は、お話朝会で、児童に次のことを聞いてみました。

- ・靴のかかとそろえは、できていますか
- ・授業開始の時刻は、守れていますか
- ・学習用具の準備や宿題の提出は、できていますか
- ・自分の机の中やロッカーは、整理できていますか
- ・集合は素早くできますか
- ・人の失敗を笑うことはありませんか



多くの学級で「授業開始の時刻」「人の失敗を笑わない」ができていますと回答がありました。ご家庭でも、起床就寝の時刻、家庭学習の取組具合やその時間、言葉遣い等、気になることはありませんか。お気づきのことは、是非、担任へ相談してください。ほころびが小さなうちに声をかけてまいりましょう。

さて、5月18日には4、5、6年生児童対象の埼玉県学力学習状況調査が、27日には6年生児童対象の全国学力・学習状況調査がありました。結果は8月以降、保護者様にお渡しいたします。

昨年度、本校児童は「聞くこと」に課題がありました。学校生活の中で「聞くこと」は特に多い活動です。授業では友達の意見を聞いて、自分の考えを深めたり、修正したりします。新しい学習内容を学ぶのも、「聞くこと」からが多いでしょう。また、「聞くこと」は相手の言葉を受け止め、受け入れることです。つまり、人間関係作りの土台でもあるのです。

子供達の周りにいる大人である私達が、よい聞き手となり、よりよい学びや人間関係構築のため、「聞くこと」のモデルを示してまいりましょう。そして、「6月の危機」を子供の話の聞くことで、乗り越えてまいりましょう。

## 運動会へのご協力、ありがとうございました



昨年度実施できなかった運動会が、皆様のご支援ご協力により、無事に実施できました。当日はPTA本部、委員会の皆様、親父の会の皆様、交通指導員様、スクールガードリーダー様等、多くの方に支えていただきました。